



僕役

大田区立蒲田中学校 三年 山口 昊輝

僕の家での役割の一つは自宅のポストから郵便物を取り出して玄関に置くことです。

ある日、父宛に納税通知書在中と書かれた郵便物が届いていた。よく見ると都市計画税と書かれている。父に何の税金なのか聞くと土地や建物を所有している人に対して課税されている税金だと教えてくれた。

税金といえば学校の社会の授業で租税教室があった時に色々な税金があること、年齢や収入で納める税金が異なることがあったと知った。僕は家に住んでいるだけで税金を払う必要があるとは知らなかった。

僕の身近な税といえば消費税だ。お店で飲み物やお菓子を買った時に必ずレシで消費税を払っている。僕はおこづかいを節約したくてなるべく安くお菓子が売っているお店に行ったりもしている。

そういえば払った税金は何に使われているのだろう。僕の住んでいる街では学校の給食費が無料になった。調べてみると、この財源も税金だった。給食が無料になったことで母が両手をあげて喜んでいたことを記憶している。

考えると税金により僕達の生活が豊かになっていることに気が付いた。小学生だった頃学校の先生に教科書が税金から賄われていると教えても

らった。家でそのことを話すと、同居している祖母が「私が小学生だった頃は教科書の配布も無く、購入だったから兄妹のお下がりを使っていた。九人兄妹の一番下だったから教科書に書込みはあるし、ページがヨレヨレだった。しかも、上の兄が使った後に近所の子が使った後に教科書がまわってきたのよ。」と教えてくれた。僕は話を聞いてびっくりした。複数人で何年も一冊の教科書を使うなんて信じられなかった。令和の今、教科書がそんなシステムだったら僕の弟は確実にお下がりを使うことになる。

この作文を通して税を考える機会になりました。改めて税金について調べると小・中学校などの学校教育、医療や福祉、警察、消防、ごみ処理費用、道路、河川、公園の維持管理にも税金が使われていました。まだ、僕の知らない税金の使い道もあると思います。

日本国憲法を調べると、「国民は、法律の定めるところにより納税の義務を負ふ」という大事な決まりがありました。

僕のこれからの役割は税金は正しく納め、その税金が無駄にならないように公園は綺麗に使ったり、ごみの分別をしっかりとすることで税金の節約をすることだと思います。

これから大人になると僕達は納める税金も増えていくでしょう。また、少子高齢社会になることで医療や年金、介護などに必要なお金が増えていきます。社会の変化に合わせて税の仕組みも変えていくことが求められるでしょう。これからの僕は適切に税金が使われているかなど、社会の動きに関心を持って判断できる大人になりたいです。